

年4回（4月、7月、10月、1月の各10日）発行

ひゅーまん ねつとわーく

特別連載

障がいのある方の権利擁護虐待防止



2023年 7月 発行 / 第94号

社会福祉法人 北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



写真のご利用者は、十三ホーム3Fフロアのご利用者で、お名前は左から
上前良太さん 内田一也さん 小越正誉さん

ひゅーまん

HUMAN

RELAY
リレー



発達障害の方々の自立と社会参加に向けたビジョンの展開

NPO 法人

発達障害サポートセンターピュア 理事・施設長

たねむら ゆうた

種村 祐太さんより

私たちは「発達障害の方と地域がつながりあう社会を実現する」という理念のもと、日々の取り組みを行っています。

当法人では、2006年から東大阪でスタートし、現在、幼児期・学齢期・成人期それぞれのライフステージに沿った支援を行っています。幼児期・学齢期では、児童発達支援・放課後等デイサービスで個別療育、小集団療育、集団療育、就労グループを行っており、ホップステップジャンプと家庭や学校、地域、そして成人期に繋がる療育を目指しています。成人期では就労継続支援B型と生活介護の事業で18歳から50歳の方までをサポートしています。就労継続支援B型では、二次的な障害として精神障害や引きこもりなどの状態の方、また、生活介護では強度行動障害の状態の方々が、支援を求めて当法人にお越しになられる方が多くおられます。また、その他事業部門としては、学齢期、成人期の方を対象にショートステイ（短期入所）や東大阪市委託の発達障害相談支援センターなどの事業を行っています。

東大阪の特色は、精密な技術がある工場が数多くある中小企業の街です。当法人も製造業の企業様にお世話になっています。成人期事業所では、製造業のお仕事をいただき、施設外就労として、製造業の企業様にお伺いして仕事をさせていただいています。当法人の利用者様の中で、手先を使う作業が得意な方は、力を発揮されて仕事

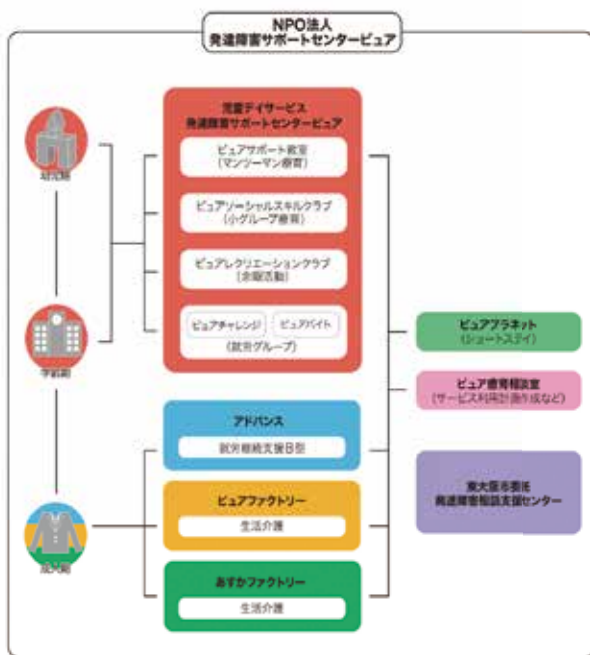
を行っておられますが、手先を使うことが苦手な方や、座って行う作業ではなく体を動かした作業を好む利用者様もおられました。そこで、この製造業のお仕事だけではなく、農業に注目し、7年前から開始しました。初期は家庭菜園規模からのスタートでしたが、その中でもいくつかの気づきがありました。農業は、作業内容を様々な工程に分けることができ、一人ひとりに合わせて仕事を組むことができます。そのため、ご本人の強みを生かして仕事を行うことができます。また、農業という粗大運動を通して感覚入力ができ、より集中して取り組むことができる方もおられました。また、野菜が育ち、お客様に販売し、お給料になっていくという過程がわかりやすく、仕事へのモチベーションに繋がりがやすい方もおられました。そのような気づきから、農業だけに特化した生活介護事業所を奈良県明日香村に去年の8月から新設しました。東大阪には約300坪の農地があり、明日香村には2400坪（8000平米）の農地があります。また野菜にもこだわっており、農薬や化学肥料を使わないこだわった農法を取り入れています。当法人が作っている野菜は、体に良く、また野菜本来の味を楽しむことができます。成人病のリスクが高い



利用者さんに、この体に良い野菜を食べて、健康に長生きしていただきたいという目的もあります。そして、この明日香村での事業は、農業を行うだけではなく、明日香村のブランド力を生かした農業の第6次産業化を図り、ご利用者の賃金アップを目指していきます。



東大阪本部



「発達障害の方と地域がつながりあう社会を実現する」という理念に向けて、2017年に職員で作った20年ビジョンがあります。毎年更新をしていますが、この20年ビジョンには下記のような計画があります。



- ライフステージをつないだ新施設を作る
- 農園事業を大規模展開
- 農薬や化学肥料を使わずに作った野菜を使った農園レストラン

(おいしくてお洒落でそれを目的にお客様が集まってくれる・・・そこには当たり前発達障害の方々働いている場)

- 住まいの場としてのグループホーム
- 不登校の発達障害の子どもたちが生き生きと通える学校法人
- 早期に適切な診断がついてトレーニングができるクリニック

このような壮大な20年の計画を作成してから6年が経ちましたが、様々な皆様のお力をいただきながら、このビジョン通り進んできています。皆様に助けていただいております。本当に多くのご縁に恵まれた法人だなと感じています。皆様に感謝でいっぱいです。ありがとうございます。



明日香村支店

20年ビジョン

理念: 私たちは発達障害の方々地域がつながりあう社会を実現します



昨年度、この20年ビジョンに加えて、明日香村バージョンのビジョンを作成しました。PureFarmParkビジョンです。観光農園といったテーマパークにして、農業体験や古民家カフェなどを経営していく予定です。そして、たくさんの発達障害の方々を雇用し、皆さんの社会参加と活躍の場を創っていきたくて考えています。なお、今年の秋にはこの明日香村の近くにグループホームがオープンします。



ビジョンを展開していくにあたって、大切にしていきたいこと、ぶれてはいけないことは、私たちの基本方針の一つでもある「ご本人中心」の支援です。いかにご本人を中心に、ご本人の想いを大切にしていくか。そのためにも、私たちは、コミュニケーション支援を大切にしています。当法人ではコミュニケーションは、周囲からの指示や状況を理解する「理解コミュニケーション」とご本人から周囲に想いを伝える「表出コミュニケーション」の両輪でのコミュニケーションを大切にしています。障害特性上、この理解のしづらさのため、構造化を用いたわかりやすい支援を心がけています。一方で表出コミュニケーション、その中でも自発的な表現は、自閉スペクトラム症の方々にとって特に苦手としています。しかし、表現が苦手

だったり、発話がなかったりしても、想いがなければありません。表出コミュニケーションの手段（例えばPECS（絵カード交換式コ



ミュニケーションシステム)など)があれば、どんどん自分の想いを表現できるようになります。周囲の方がご本人の想いを推測するだけでは、本当の想いを知ることには限界があります。しかし、この表出コミュニケーションの手段があれば、ご本人の想いをご本人が表現でき、本当の意味での「本人中心の支援」ができるかと、日々の支援を通じて感じています。そのため、このコミュニケーション支援を大切にしており、これからもぶれてはいけないことの一つかと考えています。



ご本人の想いを表現できるコミュニケーション支援を通して、発達障害の方々の自立と社会参加に繋ぎ、幸せで豊かな人生になるよう、私たちはこれからもビジョンの展開、そして、「本人中心の支援」を追求していきます。皆様これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



絵カード交換式コミュニケーションシステム (PECS)®

PECS®ってなに？

アンディ・ボンディ (Ph.D.) とロリ・フロスト (MS.CCC-SLP) によって開発されたコミュニケーション支援システムです。PECSは6つのフェイズ (段階) から成り立っており、対象者が一枚の絵カードを“コミュニケーションパートナー”に渡すところから始まります。絵カードを渡されたコミュニケーションパートナーはすぐにその交換を要求として受け取り、要求を叶えてあげます。次に、絵カードの弁別 (認識) を教え、そしてどのように文を構成するのかを教えます。さらに上のフェイズでは、対象者は修飾語を使ったり、質問に答えたり、コメントしたりすることを教わります。PECSの最優先の目標は機能

的コミュニケーションを教えることです。

研究の中では、PECSを使っている中で発語が出るようになった生徒もいることがわかっています。音声表出機器 (SGD)に移行する方もいらっしゃいます。PECSがエビデンスベースの介入であり、PECSの効果を実証する研究は沢山発表されており、増え続けています。今現在世界中で150以上の研究が発表されており、PECSの効果を裏付けております。

ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン(株)のオフィシャルホームページより抜粋
<https://pecs-japan.com/>

地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～



三昌商事株式会社 代表取締役社長 ^{たか}高 ^{はし}橋 ^{しん}慎 ^じ治 さんより

当法人・製品に関する紹介

弊社は1916年（大正5年）4月に中華民国天津に於いて創業した「三昌商事」の前身である「株式会社三昌洋行」をルーツとしています。その後、1941年（昭和16年）12月に大阪にて設立という背景がございます。創業から100年を超え、設立から80年を超えました。社名に「商事」と記載の通り、電子部品を扱う専門商社でございます。主に住友電工の特約店として、日本だけでなく、世界中の企業と取引しております。しかし、現在では、様々な製品や事業にも挑戦しております。

弊社が企業として大切にしている企業理念をご紹介します。「人と社会の永続的な幸せのために、さまざまな価値を創造する。」ことを企業理念に掲げております。さらには、ESG（環境・社会・ガバナンス）に配慮した経営を目指しており、企業価値を左右する時代を生き抜くために奔走しております。そして、社会貢献なくしては、企業の存続もそのものが危うくなると考えております。見守りシステム“CareBird”は、従来の事業領域を飛び越えて、皆様に価値を提供する製品となっております。何故ならば、ITを活用した見守りシステムをご提供することで、従来の機器では解決しなかった課題に対して、弊社が気づきを提供するからです。その気づきからご利用者様や職員様、ご家族様まで多くの方々の笑顔や幸せを創造する一助となれば幸いです。

北摂杉の子会様と共に歩む道のり

北摂杉の子会様との出会いは、2021年9月にお問い合わせをいただいたのがきっかけでした。その後、北摂杉の子会の障がい者支援施設菫の杜様には、2022年4月から現在に至るまで「夜間業務負担軽減」のために、20台もの機器を導入いただいております。改めて長きにわたりご利用いただきありがとうございます。見守りシステム“CareBird”での睡眠を確認することで、巡視回数の軽減や睡眠状況を可視化することが出来たという感想をいただいております。やはり、目視や利用者様自身の申告では、実際と異なるケースも多々ございます。従来の機器では確認できなかった睡眠の量をはじめ、複数のデータを検証・分析することで、生活リズムの把握に役立てていただいております。また、データを出力することが出来ますので、医師や御家族に資料として提出いただくことが出来ます。

障がい者支援施設と介護施設の大きな違いは、入所期間です。介護施設では、最も長い特別養護老人ホームで平均3.5年となっております。一方で、菫の杜様をはじめ多くの障がい者支援施設では、20年以上入所されている利用者様も多く、「終の棲家」としての役割を持つこともございます。見守りシステム“CareBird”を活用すれば、生活リズムを可視化することが出来ます。利用者様の生活リズムを把握することで、長期的な支援の形成の一助となります。北摂杉の子会様と手を取りながら、

障がい者支援分野の「生の声」に寄り添って、見守りシステム“CareBird”を進化させてまいります。

見守りシステム“CareBird”のご紹介

見守りシステム“CareBird”とは、三昌商事株式会社が開発・販売を行っている見守り支援機器でございます。介護施設をはじめ、障がい福祉施設でも導入いただいております。見守りシステム“CareBird”は、他社様の機器ではニーズを満たせない施設様やご利用様をすくい上げられるような3つの機能を備えています。

①「クラウド」を活用している点です。

クラウドを活用したサービスとなっておりますので、見守りシステム“CareBird”であれば、僅かな初期費用で1台からでも導入いただけます。サーバーを設置して管理する見守りシステムでは、初期費用が非常に大きくなってしまいます。施設の負担を減らして、遠隔でも確認できるメリットがございます。

②「非接触」という点です。

マイクロ波ドップラー方式を活用した非接触バイタル感知センサーとなっております。自動車の自動ブレーキと同様の方式を活用して、利用者様の脈や血管の情報を読み取っています。そのため、利用者様に気づかれずにバイタルを取得可能となっております。

③「通知機能」という点です。

他社メーカーも取り入れているポップアップでの通知だけでなく、LINEやメールでの発報通知機能を搭載しております。LINEやメールを利用すれば、発報が起こった時刻も確認することが出来ます。これらの機能を活用して、皆様の支援を支える役割を担っていきます。

最後に「地域連携」について

介護ロボットや見守り支援機器でお手伝いをすることは出来ますが、本当に利用者様や施設様の課題を解決することは出来ません。何故ならば、福祉に携わる皆様のお力があってこそ、満足な支援を提供することが出来ます。しかし、各事業所様の限られた人的資源で多くの利用者様に対して価値を提供しなければなりません。

そのためには、地域全体でサポートを実施していく必要がございます。近年では、ITやICTの波が、福祉の世界にも到来しております。それらの技術を活用して、情報共有を円滑化することで必要な支援を届けることができるようになると考えております。

しかし、便利になる一方で、情報過多になってしまうというデメリットもございます。そのため、地域の関係者同士での密な情報共有をはじめ、地域全体での連携を進めていく必要性がございます。弊社の見守りシステム“CareBird”を介して、地域や事業所の皆様と手を取りながら居宅や施設のご利用者様のバイタルを関連各所が共有することで、一人一人に合った支援を提供できるように邁進してまいります。



見守りシステム“CareBird”のセンサーとモニター画面

グループホーム 「レジデンスよど 十三ホーム」が開設



レジデンスよど十三ホーム

主任 高木 萌 美

令和5年4月9日、淀川区内の第二期グループホームとして「レジデンスよど十三ホーム」が開設されました。

十三ホームは阪急十三駅から徒歩5分のところにあり、ジョブサイトよどやジェイ・ブランチよどとは徒歩10分の距離になります。3階建ての建物で、1階に1名、2階と3階に3名ずつの計7名（全員男性）のご利用者が入居されています。令和2年9月に開設した三津屋北ホームと同様に、ご利用者全員がジョブサイトよどまたはジェイ・ブランチよどに通われているご利用者ですので、日中活動支援先の支援員と連携がとりやすいことは大きなメリットになっております。



ホームの全景

居室は全室個室になっており、各階に浴室がついています。三津屋北ホームと同様、グループホームに入居するご利用者が決まってから建築を開始したため、部屋割り、窓の大小、雨戸の有無、防音の有無等、それぞれのニーズに合わせてオーダーメイドで作られています。また、居室の家具なども、ご家族がご利用者のことをたくさん考えた配置になっており、全居室がご利用者に合ったとても個性のある居室になっています。



スケジュール確認中のUさん。チェックの壁紙には素敵なポストカードが飾られています。



大好きなキャラクターのスヌーピーのグッズがたくさんあるSさんの居室。



Uさんの居室には趣味の蝶の飼育のためのシンクがあります。



ご家族作の蝶のゲージ



蝶の成長やお天気などを掲示板でお知らせしてくださっています。



〇さんの居室。7人中6人のご利用者の部屋に冷蔵庫があり、みなさんそれぞれ、お菓子などを保管されています。

ご自宅での暮らしからグループホームでの暮らしへの移行は、みなさま経験したことが無いので、暮らしの変化についての見通しが持てず不安になられる方もいました。ご利用者の不安を軽減させるために、事前に、ご自分の居室の見学やグループホームの説明会を、ご利用者ごとに実施いたしました。説明会のときには、グループホームとはどんな生活をする場所なのか、どんな支援員がいるのか等、ご利用者ごとに気になることを説明いたしました。三津屋北ホーム開設のときよりも、十三ホームは開設準備期間がかなり短かったこともあり、見学会や説明会には、ジョブサイトよどやジェイ・ランチよどの担当支援員からのたくさんの協力の下、実施をすることができました。



入浴後にアイスを召し上がっている〇さん

開所から二か月半が経ちましたが、ご利用者全員が大きなトラブルもなく過ごされています。最初のうちは、緊張されている様子もありましたが、慣れていくにつれて、グループホームのスタッフともたくさんコミュニケーションをとってくださり、毎日大きな声で「いってきます」「ただいま」と言ってくださっています。



ジョブサイトよどに出発前のAさん



就寝前、「おばけだぞ〜」とスタッフルームに遊びに来られたFさん。

家事活動も、無理のない範囲で実施され、食事の運搬や洗濯、居室掃除などに取り組まれています。



居室掃除中のFさん

また、希望者のみですが、開所前に体験宿泊を行いました。あるご利用者は三津屋北ホームのご利用者からグループホームでの生活について聞き、グループホームでの生活に前向きになってくださり、体験宿泊をご利用していただきました。



体験宿泊日の就寝前のAさん



食事運搬のお手伝いをしてくださっているSさん



夕食のお茶を注いでいるUさん



体験宿泊日の朝食中のKさん

今後も、ご利用者の生活が豊かになるよう、精一杯、支援に取り組んでいきたいと思っています。

◆ 特別連載企画 ◆

元・前障害者虐待防止専門官と語る 障がいのある方の権利擁護虐待防止トークセッション④

2022年8月6日(土)に元厚生労働省障害者虐待防止専門官の曾根直樹氏(日本社会事業大学准教授)および前厚生労働省障害者虐待防止専門官の片桐公彦氏(社会福祉法人みんなでいきる 理事)をお招きし、障がいのある方の権利擁護虐待防止をテーマとしたトークセッションをオンラインで開催いたしました。当日は全国からたくさんの方々にご視聴いただき、ありがとうございました。

その内容を全6回に分けて機関紙「地域に生きる」に連載しております。(4回目/6回中)

虐待の傾向と人材育成

【北摂杉の子会理事長 松上利男(以下、松上)】

育成会の又村さんが大阪手をつなぐ育成会で研修をされた時の内容を機関紙に書かれていまして、すごく面白いなと思ったんですけども。要は障害者虐待防止法施行後の障害者福祉施設における虐待の状況をおおまかにまとめておられます。それによりますと、入所系サービス事業所において若くて障害が重く行動障害のある知的障害者が40歳以上の男性支援者から身体的虐待、心理的虐待を受けているケースが多いということなんです。これについて、どういうことが浮かび上がってくるんですかね。

【元障害者虐待防止専門官 曾根直樹氏(以下、曾根)】

厚生労働省が公表してる虐待対応状況調査という毎年の統計があって、それを集計すると、虐待している職員の年齢階層というのが出ているんですけど、20代の人が一番少ないんですね。結果として40代、50代、60代の人割合が多いということ

になっています。これは、現場で働いている職員の年齢階層別の人数で虐待した職員の年齢階層別の人数を割り算し、割合で見ても必要もあるのかなと思います。

40歳以上の人で現場で働いてる人が多い印象もあります。例えば、途中で転職して福祉の世界に入ってくる人が、一定います。あとは、以前障害福祉に就職した人の年齢が上がってきていて、その障害福祉の全体の中で、年齢階層がどういう構造になっているのかというのを突き合わせないと、本当に少ないかどうかということが分からないというのが1点。もうひとつは、虐待した職員の職種を見ると、一番多いのは生活支援員です。それは、直接支援する役割ですからどうしても虐待する側にもなりやすいということがあると思います。次に多いのが、設置者、管理者、サービス管理責任者なのです。それは当然ながら、年齢階層で言うと、中堅ベテラン層になるわけですよ。なぜ管理職層、管理的立場にある人が虐待する側に回っているのかということも、よく考える必要があると思います。例えば、自分の上司が虐待してたとしたら、誰もそ

れを止められないと思います。その様な施設や事業所というのは、本当に雰囲気が悪いと思うんですね。そういったところでは虐待が起こりやすい職場の雰囲気が出来てしまっているということも言え、そういった職種と年齢階層というのは少しリンクしているというところがあると思います。あと、入所施設が多いということなのですが、事業種別の事業所数分母として、虐待が起きた件数を割り算しないと、やはり実態は見えないと思います。入所施設の次に虐待が多いのはグループホームです。しかし、入所施設の方が数が少ないですね。グループホームは今たくさんある。平成24年10月から令和2年3月31日までの入所施設で起きた虐待件数を足算して施設数で割ると、36%くらいになります。過去8年で36%の入所施設で、一回は虐待が起きた計算になるわけです。一方、グループホームは沢山あるので、同様の計算による割合は7.8%くらいになるのです。発生した数は入所施設に次いで多いのですが、割合でみると低い。入所施設と同じくらいに割合が高いのが療養介護なんですね。療養介護は数が少ないから、虐待が起きた件数で言うるとすごく少ないです。しかし、療養介護事業所は数が少ないから、比率で考えると37%くらいになってしまうのです。だから、割合で考えるということと合わせて見ていく必要があるのではないかと思います。ただ、夜間支援があるところで虐待が多いということは、傾向としてはあるように思います。



松上 どうですか？片桐さん

【前障害者虐待防止専門官 片桐公彦氏 (以下、片桐)】

最新版の虐待者の属性、年齢と施設別のデータを見ると、40代以上の方が入所施設に多いかというところ、そうでもなくて、それなりに万遍なくという感じに実はなっているんですね。グループホームで言うと60代の方が割合としては一番高いという状況になってきているんですね。でも、本当はもう少しデータを積み上げる必要があるように思いますね。

というのは、単年度で見るとデータとしては少々成立しづらいとあって、だからもう少しデータの積み上げをしていって、傾向を出す作業をきちんとやるべきだと思っています。

サービス類型別に見て、詳細なクロスをつけたデータで傾向を探っていくことをしないと単純には言えないかなと。

曾根 この数字で思うことがあるのは、われわれの世代って、巨人の星世代なんですね。巨人の星って、最近再放送されないじゃないですか。これは、たぶん児童虐待になっているから、再放送出来なくなったんじゃないかと想像しています。花形満のノックアウト打法ってあったでしょ？あれを打ち負かすために、星一徹が硬球にガソリンかけて、火つけて、飛雄馬にノックするっていうシーンがでるんですよ。

最初はグローブで受けて、グローブが焦げちゃうんだけど、最後は逆立ちして、下駄の裏でボールを跳ね返す技を編み出して、花形に勝つ。そんな今、人が見ている前でやったら即通告じゃないですか。だから、我々の世代は虐待に対する感度が弱いのかもかもしれませんね。若い世代の人たちの方が、もっと人権感覚が鋭くなってるんじゃないかと感じるころではありますね。

松上 私は、この数字を見て40歳以上の男性が多いと…私なんか70歳を超えていますけども、

今は、家庭の中でも体罰はダメ、虐待になってしまう。だけど、当時は、学校なんかでも、先生から日常的に殴られてましたし…。

ずっと廊下で立たされて、教育権を剥奪されてきたんですけども（笑）。すぐに、叩かれたりしましたよね。家でもそうでしたよ。私が若い時働いていた施設では、親御さんが公然と「悪いことをしたら叩いてください!」「この子は言うこと聞かへん、叩かんと。」みたいなことを言う時代だったんですよ。いわば、体罰とか受けてきた世代。だから、虐待防止研修の中身を考えないといけない。ただ単に、「こんな虐待はダメですよ」みたいなことでは、なかなか難しい様に思います。ずっと権利擁護虐待防止の国研修をしていますよね。プログラムつくる時、私はいつも体制整備の担当で、ずっと国研修で講義をしてきてるんですけども、体制整備と通報義務ということが非常に重要やと思うんですけども、これから虐待防止研修の中身も、もっとこの実態に合わせて、考え直す必要があるかなあと思っているのですが、どうですか？

松上 それと、途中で採用された方も多いんですよ。私大阪の某市で、虐待防止の研修の講師依頼を受けて、話をしたんですよ。最後の方で、60代くらいの男性の方が「アセスメントとか言葉が分からない」と仰ったんです。私たちにとっては普通のことだと思うでしょ？だけど、言葉が分からないですって、おっしゃった時に、その人には感謝しましたね。

なかなか皆さんの前でね、「この言葉が分からないです」と言えないですよ。

本当に当然の共通の専門用語っていうか、共通言語が通じないと感じたんです。それと、最近、研修依頼が増えてきたのは、“対人援助専門職というのは何か”という基本的なことを講義して欲しいということの依頼です。そういう事を考えますと、経験年数別や年齢別、コース別など国研修のあり

方もちょっと変える必要もあるのかもしれない。

片桐 そうですね、虐待防止研修もそうですけど、行動障害のところと言うと、感情労働についての講義を日本精神科看護協会の末安民生先生に相談して、入れてもらったことがありました。“まさに私たちの仕事は感情労働者なんだ”という講義を入れた時に、すごい好評だったんですよ。今の講義の中には時間の制約もあって、入れられなかったのが残念だったんですけど。本当に、技術的なところというよりも、対人援助職としての心構えというところが大事だと思うのですが、どうしても時間の制約上、テクニカルな方にいっちゃうんですよ。強度行動障害支援者養成研修というのは、虐待防止研修も概要的・制度的な話をしてしまうところがあって、基本的な対人援助職であるという講義は確かにないんですよ。さっきの年齢層が低い人の中で、専門学校や大学で社会福祉援助技術を学んできた人は、そこところがキチンとしてると思ってるんですよ。ある程度講義や実習等でそんな風に教わってきているわけです。

途中で他業種から入ってきた人は、そういう教育をする機会がなかなか持てないので、さっき松上さんがおっしゃったような「いきなり専門的な話をされても、よくわからない。アセスメントっていわれてもなんだかよくわからない」ということになるのかもしれない。

松上 難しいですよ。だから強度行動障害支援者養成研修基礎研修のプログラム作成する時に、最初は3日間で考えていたんです。しかし、厚労省から今は事業所が職員を3日間も研修に出せないから、とにかく2日にして欲しいという要望があって、それで2日間に短縮したんです。だから、当初考えた中身が入ってなかったり、薄くなったりしてるというようなことがあるんです。それと片桐さんの時にそれをもうちょっと、改定しましたよね？



片桐 そうですね。強行研修のカリキュラムを改定した時に、どのレベルで受講するかということが、定まっていなかったのですよね。あと、民間の時代に地元の強度行動障害支援者養成研修の講師なんかもやっていたんですけど、当時、その時気になったのが、“TEACCH”や“構造化”という言葉が知らずに受講してくる事を結構ネガティブにおっしゃる講師の方々がいらっちゃって、私は少し違和感がありました。「そういう言葉や専門用語を教えるのがこの研修の意義なんじゃないか?」と思っていました。カリキュラム改定の検討段階では、ある人は「1年くらい現場経験を積んでからこの研修受けるべきだ」という人もいたし、ある人は「悪いクセが着く前に、なるべく早くこの研修を受けた方が良い」

という意見もありました。自分は後者だったんですよね。色々な方と議論をして、紆余曲折ありましたが、総合的に勘案して、当時の検討の中では受講生のターゲットを「0年0ヶ月にしましょう」となったわけです。要はなるべく早く受けてもらうというコンセプトをまず最初に決めたんですよね。それをベースにしてカリキュラムを改定してこうという時に「じゃあどういいう講義にしていくのか?カリキュラムをどうしていくのか?それから教材をどうしていくのか?」ということを2年かけて作ったという経緯があります。意図としては、構造化などの言葉を国の研修として責任もって伝えるべきであるというのが1つと、なるべく早い段階で受けてもらうことによって、例えば区分4ぐらいで行動関連項目16、7点ぐらいの人は、一般の事業所でもちゃんと受けて欲しいなど。おそらく断ってるという実態もあったので、そういう人たちのなるべく敷居を下げて受けてもらう形にして、集中している事業所から少しでも分散させたいと思って、それも研修の敷居を下げたひとつの目的ではありましたが、検討員の中でもそういう議論があったと記憶しています。

●トークセッションのダイジェスト版を北摂杉の子会 YouTube チャンネルにて配信しております。是非、ご視聴ください。

前編 : <https://www.youtube.com/watch?v=ZkUx79ljA9A>



後編 : https://www.youtube.com/watch?v=spyc1__mr4c



経営戦略企画室のご紹介



就労支援部 統括部長

経営戦略企画室 室長 **星 明 聡 志**

法人は、令和4年度から第5次5カ年中期計画をスタートさせました。それに合わせて発足された経営戦略企画室について、ご報告させていただきます。

1. 発足の経緯

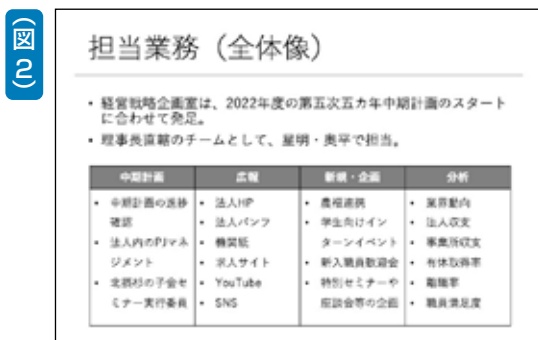
図1のとおり、第5次5カ年中期計画は5つのビジョンで構成されていて、そのひとつに「みんなで作る法人」があります。「戦略的で風通しの良い、透明性のある持続可能な組織運営」が副題です。



組織に横串を入れ、職員みんなで法人運営に取り組むことを目的に経営戦略企画室は発足されました。組織図では、理事長直轄のチームとして位置付けられ、就労支援部の星明、法人事業部の奥平の2名で担当しています。

2. 主な担当範囲

経営戦略企画室では、主に図2にある業務を担当しています。



特に、メインとなる業務は中期計画の進捗管理です。5つのビジョンに沿って計画が進んでいるかを確認し、ビジョンごとの計画を担当する管理職や職員とも連携して、中期計画の実行を気にすることが一番の役割となっています。

また、新規事業の立案、webサイト等の広報業務も重要な仕事のひとつとなっています。法人は、毎年の年度方針（理事長方針）に沿って事業展開を進めていて、現在は農福連携を新規事業と位置付けて検討を続けています。

広報についても、webサイトのリニューアルや機関紙、法人パンフレットなど、見せ方をより良くすることも課題とされていて、経営戦略企画室としては広報も重要な業務となっています。

3. 法人内プロジェクト

ここからは、昨年度の取り組みについて報告します。まずは中期計画についてです。

理事長からは、組織に横串を刺す意味も含め、経営戦略企画室が担当する業務の一部についてできるだけ多くの現場職員が関わることを理想とされていました。そのため、法人内でプロジェクトチームを複数発足し、そこに現場の職員さんも参画する中で中期計画の実行を進めていきました。具体的には、①「北摂杉の子会セミナープロジェクト」、②「地域への理解啓発プロジェクト」、③「suginokobrandプロジェクト」の3つを経営戦略企画室が担当してプロジェクトマネジメントを行ってきました。

プロジェクトの①については昨年度より北摂杉の子会セミナーを復活し、11月に高槻市立生涯学習センターにて対面とオンラインでのハイブリッド開催をしました。基調講演に加えて法人からの3つの実践をご報告し、当日は202名の方に参加していただくことができました。

また、②は児童発達支援部、地域生活支援部、

日中活動支援部で働く職員にヒアリングを行い、地域との繋がりや障がい理解を進めるための方策を意見交換し、SNSを活用した理解啓発を進めていくこととなりました。法人内の事業所ごとにInstagram等のアカウントを取得して、早速の動きが進んでいます。

最後のプロジェクト③は、昨年度の下半期よりプロジェクトメンバーの募集を始め、年度が変わった令和5年度も活動を継続しています。現場で取り組む新規の活動を模索するとともに、法人のブランディングを盛り上げるために「シンボルマーク」の作成に取り組んでいます。

4. イベントの実施

今年度は、イベントもいくつか実施をしました。ひとつは、新入職員の歓迎会です。コロナ以降は職員間のコミュニケーションも限定的となり、同期での繋がりも少なくなったと聞いていて、配属先の事業所での歓迎会も開催できずとなっていました。そのため、新型コロナウイルスの影響を受けた令和2年度以降の入職者を対象に、開催が遅くなってしまいましたが歓迎会を実施しました。開催にあたっては、各部署から先輩職員が企画と準備を手伝って、当日はゲームも交えて盛り上がっていました。

また、機関誌にも掲載している「権利擁護・虐待防止をテーマにした座談会」も開催しました。YouTubeによるLive配信では、100名以上の方にご参加いただき、注目度の高さを改めて感じました。

機関紙での連載もぜひご覧いただければと思いますし、法人YouTubeではダイジェスト動画も配信しております。

5. 広報活動について

広報については、法人ホームページのトップページをリニューアルしたり、社会貢献ページの新設、求人専用のwebサイトを新たに開設するなど、webでの広報活動に力を入れてきました。

特に、令和5年3月に公開しました新設の「求人サイト」(図3)は、法人内で働く5名の方のインタビューを掲載しています。入職した経緯や1日の仕事内容、そこでのやりがいなど、たくさんのお話を聞かせていただき、読みやすくするためにインタビュー内容をギュッと凝縮した形でwebサイトでの公開をしています。今後も、部署ごとで様々な活躍される職員さんを掲載できればと思っていますので、ご期待いただければと思っ

ております。

図3



広報活動は、法人の事業や活動をどのようにPRしていくかに難しさもありますが、そこに面白さも感じます。これからも検討を重ね、webサイトに限らず、機関誌、法人パンフレットなどのブラッシュアップも図っていきたいと思っています。

6. 今後に向けて

経営戦略企画室は、法人経営の戦略を考え、新規事業を含む中期計画の発展を目指すことが大きな役割でもあります。戦略を考えるためには、法人内外についての情報を集め、様々な視点で分析が必要と感じますが、まだまだそこにまで至っていない現状もあります。

障がい福祉業界としては、今年は報酬改定の検討が行われる1年になり、来年度の改定は法人に様々な影響を与えそうです。それによる収支の変動、新規事業の模索など、検討すべきことはたくさんあるように思います。

また、法人は約450名の職員の方が働いており、約7割はパート職員や嘱託職員です。福祉業界に限らず人手不足はどこも同じですが、働く職員には長く勤めてもらうことも大切なため、働きやすい環境づくりも必要と感じています。各事業所の収支に加えて、有休取得率、離職率、職員満足度など、働く人に関するデータの収集と分析も含めて、職場環境をより良くしていくことにも取り組んでいきたいと思っております。

理事長直轄の部署ということで何でも屋のようなチームではありますが、皆様のお知恵とご意見もいただきながら、引き続き頑張っております。



杉の子 いいね!

凸レッツ凸
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

【スタッフコメント】

毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」とされており、全世界の人々に自閉症を理解してもらい取り組みが各地で行われています。ジョブジョイントおおさかもこの時期にあわせて、シンボルカラーであるブルーを基調とした、装飾品の作成&飾り付けをおこなっています。今年はその時の様子や作品を、十三オフィスと高槻オフィスそれぞれご紹介します。
素敵な作品が出来上がりました!

【ご利用者コメント】

▶TAさん

自閉症啓発デーのポスター作りに取り組みでみて、かなり楽しかったと思う。ポスター作りでは、自分の折った紙飛行機を貼っていった。初めての経験だったので自分にとっては、大変よかったと感じた。また、ペンなどを使って取り組んでいった。スタッフの伊藤さんと折り紙でおむすびを折った。すごく上手にできたと思う。折り紙を久しぶりにやったときは、難しそうだったが、楽しかった。

①十三オフィスの取り組み(タイトル: 願いをむすぶ)

・願いをむすぶ、という意味でおむすびの折り紙をつくり、願いを書き込みました。



▶Hさん

今年も就労移行と自立訓練の人たちが協力してポスターを完成させることが出来ました!おむすびの中にはそれぞれの方々の目標や希望がまっすぐな文字で書かれています。その周りの作品には青を基調とした紙飛行機や花飾り・動物などの切り絵や折り紙をご利用者一人一人が作り、空に浮かぶような個性豊かな作品となりました。

②高槻オフィスの取り組み(タイトル: みんなで飾る青色Tシャツ)

・シンボルカラーでTシャツを作り、高槻オフィスのエントランスを青く染めました。



▶Konosuke Maekawaさん

2023年4月に自閉症啓発デーについて、折り紙を折る作業をしました。最初は難しかったが、少しずつ良くなっていった事があります。紐をつける為のテープカットや貼り付けは難易度が高く、苦戦している人がいました。エントランスでの飾り付けはめっちゃきれいでとても満足しました。来年の自閉症啓発デーでは前よりも多くのTシャツを作って飾りたいと思います。僕はかなりきつい場面もありましたが、最高だったと思います。

掲示板コーナー

(令和5年3月から令和5年5月まで)

法人事業部 掲示板

3月	行 事
1日	法人事業部管理会議
1～3日	全自者協スーパーバイザー研修
2日	マイナビ京都採用合同説明会
4日	内定者ご家族対象法人説明会
6日	FUKUSHI MEETS 合同説明会
6・20日	経営会議
8日	マイナビ大阪採用合同説明会
10日	第8回新入職員研修 「1年間の振り返りと次年度に向けて」
10・24日	運営会議
11日	大阪府社会福祉協議会就職フェア
18・25日	法人採用説明会
19日	マイナビ神戸採用合同説明会
27日	第145回理事会 第1号議案 部長人事の件 第2号議案 法人組織再編の件 第3号議案 諸規則、規程類の改正の件 第4号議案 令和5年度 事業計画(案)の件 第5号議案 令和5年度 予算(案)の件 第6号議案 定時評議員会開催の件 第7号議案 理事長職務執行状況報告の件 第8号議案 滋賀銀行から長期運営資金(当座貸越)借入の件

4月	行 事
1日	法人採用説明会
10・24日	経営会議
14・28日	運営会議

4月	行 事
15日	令和5年度 第1回法人研修 ・令和5年度年度方針について ・第5次中期計画の進捗報告 ・資格取得表彰、eラーニング表彰 ・新入職員紹介 ・キャリアデザイン研修
16日	マイナビ大阪採用合同説明会
19日	法人事業部管理会議
21日	医療連携推進室会議
27日	権利擁護虐待防止委員会
28日	法人採用一次面接

5月	行 事
1～2日	法人採用一次面接
8・22日	経営会議
9日	法人事業部管理会議
10日	第1回新入職員研修 「法人設立の経緯、理念、沿革について」 「社会人になるにあたって」
11日	法人採用二次面接
12・26日	運営会議
19日	医療連携推進室会議
29日	第146回理事会 第1号議案 定款変更の件 第2号議案 法人組織再編の件 第3号議案 諸規則、規程類の改正の件 第4号議案 理事・監事候補者推薦の件 第5号議案 令和4年度 事業報告承認の件 第6号議案 令和4年度 決算承認の件 第7号議案 令和4年度 監事監査報告の件 第8号議案 理事長職務執行状況報告の件

(河辺 記)

内定者ご家族対象法人説明会



法人採用説明会



～ゴールデンウィーク～



ピザを注文したり、パフェを作ってみんなで食べました！

～外出でリフレッシュ～



食事やお買い物など、楽しまれていました。

(松本悠 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

3月:ひな祭り



ひな祭りは女性達で集まって、思い切りオシャレを楽しみました。
メイクをしたり、ネイルを塗ったり、白髪染めをしたり...。いつもと違う自分に変身すると、皆さんの表情もいつも以上に乙女になり、照れ笑いしながらカメラに向かってとびきり素敵な笑顔を見せてくださいました。



人生初めての白髪染めでも、意外と戸惑いなく気持ち良さそうに頭を預けてくださったことや、メイクは好きじゃないけどアクセサリーを着けるのは大好きだという方が居たこと等、知らなかった発見もたくさんありました。ウキウキとオシャレを楽しむ皆さんから、明るいパワーを貰った1日でした。



4月:Y田さんの個展



Y田さんの個展が2日間に渡って開催されました。長年絵を書き続けているY田さんの絵は、暖かくて少し不思議で、Y田さんにしか出せない魅力がたっぷりです。
一つ一つゆっくりと描きあげてきた計15点の作品を皆さんに見てもらい、お客さんとの交流を楽しめました。
これからも素敵な作品を楽しみにしています!



「来てくれてありがとう」

5月:Oさんの苺狩り

昨年11月から毎日苺の鉢に水をやり続けてきたOさん。約半年間のお世話の末に、ついに赤くて可愛い苺が実り、食べ頃になりました。気になるお味は...少し酸っぱかったですが、自分でコツコツと育てあげた苺は特別な味に感じられたかもしれません。とても良い表情で召し上がっていました😊



(近藤 記)

アクトおおさか Topics!!

アクトおおさか開設20周年記念セミナー（令和4年度府民対象公開講座） つながろう OSAKA つなげよう 未来へ

—発達障がいのある方が身近な地域で安心して豊かに暮らし続けるために—

アクトおおさかは昨年度で開設20年目を迎え、令和5年3月11日（土）にクレオ大阪東1階ホールにて、「つながろう OSAKA つなげよう 未来へ—発達障がいのある方が身近な地域で安心して豊かに暮らし続けるために—」をテーマに、開設20周年記念セミナーを開催いたしました。

第一部では、信州大学医学部子どものこころの発達医学教室教授の本田秀夫氏より「支援の本質を考える—誰のため?何が目標?—」と題して、ご本人が幸せに生きていくためにという視点から、ご本人を中心とした支援や、特性理解をもとにした支援の大切さ等についてご講演いただきました。基調講演後には、ご本人・ご家族が大阪府内のどこに住んでいても身近な地域で、安心して暮らしていけるように当センターが行っている取り組み（主に市町村コンサルテーションの取り組み）を多くの人に知っていただくために、当センターの事業説明を行いました。

基調講演・事業説明の様子

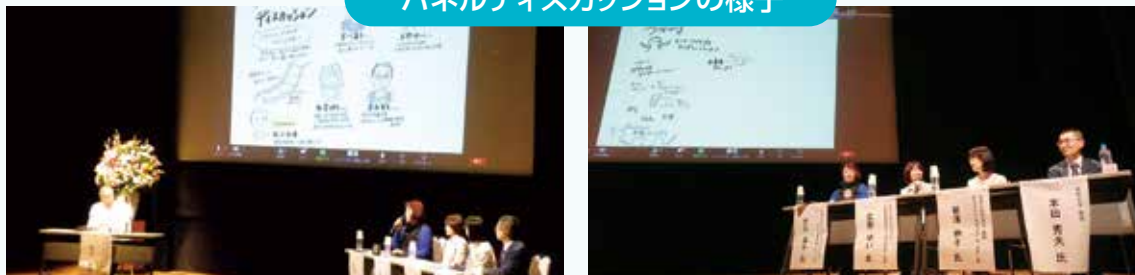


第二部では本田氏とともに、NPO法人DDAC（発達障害をもつ大人の会）代表の広野ゆい氏、自閉症の人のバリアフリーを考える親の会はぐくみの古川直子氏、武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科教授であり初代アクトおおさかセンター長の新澤伸子氏にもご登壇いただき、「つながる」をキーワードにこれまでの経験談と、今後大阪府の中でつながっていくために、必要なことについてパネルディスカッションで意見交換を行いました。また、より多くのご本人・ご家族の生の声を参加者へ届けるために、6名の方々にご協力いただき、「つながる」をキーワードにご自身の経験談をお話いただいた動画の投影も行いました。

パネルディスカッションではグラフィックレコーディング（※）を活用し、口頭でのやり取りを見える化することで、ご参加いただいた方にもディスカッションの内容を理解していただきやすいように工夫しました。

※グラフィックレコーディング…議論の記録を絵や図で示すもの

パネルディスカッションの様子



登壇者からは、ご本人同士・ご家族同士のつながりで支えられてきたこと、自分で過ごしやすい環境を作っていくことの大切さ、ご本人の発信から支援体制の整備やニーズに応じた新しい資源や仕組みを創造していくこと、資源や情報へのアクセスのしやすさ、多分野における連携の重要性、途切れない体制づくりとそれを行政が主体的に作っていくことの重要性について共有され、参加者の様々な気づきに繋がったことが感想からもうかがえました。

当日は、会場参加とオンライン参加合わせて約260名と多くの方々にご参加いただきました。一部、アンケートでいただいた感想をご紹介します。

<第一部の感想>

- ・基本中の基本ですが、本人の特性に合わせた支援の大切さを改めて教えて頂きました。
- ・発達障がいの方の特性、思考の特性を知ることができ、なぜそのような行動になるのか少し理解できました。当事者の世界を理解することの重要性を改めて感じました。
- ・何のための、誰のための支援か、改めて考える機会となりました。本人の居場所、好きなことを共有、他者へもつなげていける支援をしていきたいと思いました。
- ・学校以外にも自分の居場所や繋がっていける場所が沢山つくられていくことを願います。
- ・発達障がい児者に限らず、マイノリティの方に寄り添った環境を整える事に努力していく事が求められていると思いました。

<第二部の感想>

- ・当事者のつながり、家族のつながりの持つ力の大きさを感じました。専門的なことだけではなく、ただ共感してもらえること、一人じゃない、私は私で良いんだと思えることは、生きていく中で大きな支えになると思います。
- ・つながりを持ったり広めていくためには支援者としても様々な機関とつながりを持ったり、知識を深めたりしないといけない。
- ・当事者・保護者の話を直接聞く機会はとてもありがたく、それぞれのライフステージを色々な「つなぐ」で当事者も周りも心豊かに過ごせる社会になればと思いました。
- ・制度が無くても使えるサービスがあれば、本人の過ごしやすさにつながると思います。

今回のセミナーを通し、改めて多くの皆様に支えられていることを実感するとともに、ご本人同士・ご家族同士が繋がること、支援者同士が繋がること、ご本人・ご家族と支援者が繋がることの重要性やその繋がり方について皆様と共に考える大変有意義な機会となりました。ご参加いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

当センターが20年目を迎えることができましたのも、ひとえにご本人・ご家族を始め関係者の皆様のご理解とご協力のおかげと深く感謝しております。今後もご本人・ご家族の声とニーズを中心にセンター運営、支援体制づくりに努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。



アクトおおさか
大阪府発達障がい者支援センター

児童発達支援部

an



イラストと同じところに置いています



次の予定は何かな?



壁にうつった!!

Link



あと何回ゲームができるか確認しながらあそぼう!



3人でルールに沿ってくろひげゲーム



施設見学会の様子



willの看板作り

あゆみ



紙遊び



給食タイム



園庭で水遊び♪

(横山・瀬川・尾崎・久保田 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

ジョブサイトよど



室内や外で運動がんばってます！



お散歩♪



ホットケーキ作り☆



外食～焼き肉に行きました！



ジェイブランチよど

新しい仕事にチャレンジ！！



春からそれぞれ新しい仕事に取り組みました。



草むしり

土曜開所日に駐車場の草むしりを行いました。

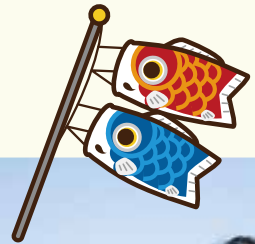


一本ずつ抜いたり、まとめて一気に抜いたり
時々アリの観察をしたり…様々な方法でおこなわれました。



(西澤 記)

こいのぼり



こいのぼりフェスタ



— 高槻城芸術文化劇場 —



母の日



(松本 記)

ジョブジョイント (JJ) おおさか・ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ- 掲示板

3月	行	事
4日	土曜クラブ/働くチカラPROJECT 先輩のはなし	
13日	企業実習 (病院の事務補助)	
18日	土曜クラブ/JJ同窓会/働くチカラPROJECT 勉強会 (コミュニケーション)	
21日	企業研究講座 (企業回: 株式会社 京はやし)、スーツデイ	
4月	行	事
10日	企業実習 (物流倉庫の入出荷作業)	
18日	企業研究講座 (企業回: 印刷事業・Web制作事業の企業)、スーツデイ	
20日	企業見学 (介護老人保健施設)	
22日	土曜クラブ/シュミラボ	
25日	企業見学 (スーパーの惣菜業務)	
5月	行	事
1~2日	GW 特別プログラム (映画観賞会、かるた大会)	
8日	GW 特別プログラム (実習先・就職先の紹介講座)	
12日	仕事体験会 (プロトワーク株式会社) 企業実習 (回転寿司店の皿洗い)	
13日	土曜クラブ/シュミラボ/家族ミーティング	
16日	スーツデイ	
18日	企業実習 (ホテルの清掃作業)	
31日	しゅみナビ (USJ、映画、リメイク)	

(岡本 記)

①仕事体験会

施設外作業でお世話になっている株式会社プロトワークの河野さんがたかつきランチに来てくださいました。普段の施設外作業では5人程度で会社に伺い、カタボンとエコポンという商品の製造に取り組んでいます。この日は、ご利用者とスタッフを含め50名が商品作りを体験しました。実際の商品に触れ、製造業で働くイメージをつけることができましたように思います。指導役のご利用者の頼もしさも見られ、全員が生き生きとした表情で取り組んでいる姿が印象的でした。



体験実習

シャープ特選工業株式会社様で、2名のご利用者が体験実習をさせていただきました。印刷、製本の部署で名刺用の箱作りや書類の丁合などの作業にチャレンジされています。円滑に仕事を進めるために筆談や治具など、それぞれ個々に応じた配慮や工夫がされた職場環境の中で実習することができ、お二人ともとても良い経験をさせていただきました。



②OB会

就職された方を対象に、月に一度OB会を行っています。6月は3つのグループに分かれ、「天王寺動物園」「カラオケ」「ゲーム」を行いました。皆さんそれぞれ興味のあるものに参加され、楽しんでおられる様子でした。オンラインで実施していたOB会も、コロナが落ち着いてきたため、今年度は対面でのイベントを復活させていく予定です。OBの皆さんと直接お会いして話ができる機会が増え、スタッフも楽しみです。





内職作業・お菓子作りがんばっています!

丁寧に、正確に
作業を
頑張っています!



2022年度おつかれさま会楽しみました



ドキドキの
箱の中身は
なんだろう?

皆さんの
パフォーマンスで
盛り上がりました!

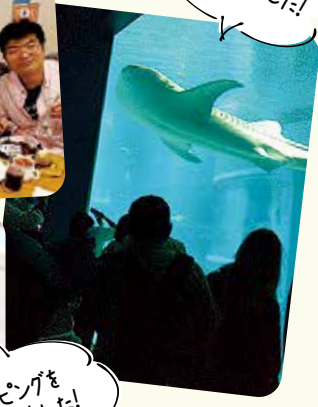
海遊館に行きました♪パフェづくりもしました♪



電車に乗って
行ってきました!



トッピングを
楽しみました!



今年の夏もフローズン・新商品登場です!

母の日・父の日ではたくさんのご利用ありがとうございました。
ご好評いただいております夏限定のドリンクを今年もご用意
しました。

定番のショコラ、昨
年大人気だったほう
じ、新登場のトピ
カルです。

レモンケーキをは
じめ夏の新商品も登
場しております。
皆様のご来店お待ち
しております。



Instagramのご紹介

お店の情報をアップしています
ので、ぜひご覧ください♪



(山田 記)

訪問看護ステーション



ペグいっぱいさしたよ！
(訪問初期)



小学校に去年入学され、少しの時間から1年かけて毎日学校に行けるまでになりました。
お母さまのお仕事復帰とともに放課後デイに行かれるようになり、訪問看護は卒業の運びになりました。



こんなに大きくなりました！
(2年後)



大好きなミニカーの課題だよ！
(2年後)



コースを作って走らせるよ！



ぼくのゲーはこんな感じ！



紐結びができるようになりました！



好きな国旗のカードでマッチング！



(神垣 記)

萩の杜家族会 掲示板

3月	行	事
1日	通所部 茶話会 (からふねや珈琲 高槻店) 5名出席	
6日	萩の杜プロジェクト	
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン (関連店での買い物協力依頼)	
16日	家族信託について 勉強会 (クロスパル高槻) 15名出席	
20日	家族会会長会議	
23日	サークル萩 (今城塚公民館)	
4月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン (関連店での買い物協力依頼)	
27日	サークル萩 (今城塚公民館)	
29日	令和5年度家族会定期総会 (クロスパル高槻) 15名出席 ・令和4年度活動報告 ・令和5年度役員選出と活動計画案、予算案について	
5月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン (関連店での買い物協力依頼)	
24日	通所部 グループホーム見学会 (皐月荘) 5名出席	
25日	サークル萩 (今城塚公民館)	

(池永 記)

令和5年度 定期総会

委任状が多く出席者は15名でした。ご夫婦や車椅子での参加もありクロスパル402号室は満杯でした。

長年尽力された会長の本田さんが高齢のため退任されました。本当にお疲れ様でした。代って植松さんに2回目の会長職をお願いすることになりました。どうぞよろしくお祈いします。

職員不足の中、支援の質を落とさないように日々頑張っている施設支援員の方々に深く感謝します。



令和5年度イオンギフトカードでの購入リスト

コロナ鍋のため中止になっていた店内でのキャンペーン活動が昨年9月から再開されました。今年度は、36,400円のギフトカードを頂きました。利用者のための備品、消耗品の購入に当てることが出来ました。

この活動は萩の杜のPRにもなります。市民に障がい者の理解を求める機会に役立っています。引続き毎月11日にイオン関連のお店でのお買い物をお願いいたします。又友人、知人にも声かけして協力の輪を広げていきましょう。

萩の杜家族会の皆さま

いつも大変お世話になっております。

36,400円のギフトカードを頂き、下記物品を購入いたしました。

萩の杜にて、それぞれ大切に使用させていただきます。萩の杜職員一同、心より御礼申し上げます。

萩の杜

令和5年度 イオンギフトカード 購入リスト



掃除機 1台、ポータブルDVDプレーヤー1台、ホウキ 2本
住宅洗剤 4個、単3乾電池 1パック

ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

3月	行	事
8日	第7回役員会（高槻市地域福祉会館3階会議室）	定期総会資料準備確認
20日	家族会会長会（高槻市生涯学習センター第3会議室）	東会長出席
4月	行	事
3日	会計監査（法人本部会議室）	会計監査報告書作成 第8回役員会（法人本部会議室）定期総会資料作成作業・配布
17日	経営協議会（法人本部会議室）	東会長出席
18日	第1回ひむろ祭り打ち合わせ（ジョブサイトひむろ）	
25日	定期総会（クロスバル高槻 5階視聴覚室） 出席者 会員40名 欠席1名 委任状13名 第1号議案 令和4年度 行事活動報告 第2号議案 令和4年度 会計報告及び会計監査報告 第3号議案 会則変更の件 第4号議案 ジョブサイトひむろ建替えに伴う物品寄付の件 第5号議案 令和5年度 行事計画の件 第6号議案 令和5年度 予算計画の件 第7号議案 令和5年度 役員及び会計監査・参与選任の件 以上の議案すべて承認 ・松上理事長より「令和5年度北摂杉の子会年度方針」説明 ・平野理事より「法人現状報告」 ・下統括部長より「人材確保と育成について」 ・森田施設長より「令和5年度事業計画」説明 <令和5年度 役員> 会長 東 敬司 副会長 金谷 健・実宝 公美 会計 戸田 恵子・中川 琳津子（新任） 事務局 福本 美紀・古山 陽子・岡 ゆかり・山田 信子（新任） 会計監査 切石 久美子 参与 平野 貴久・森田 耕平 令和5年度第1回 役員会（クロスバル高槻 5階視聴覚室）	
5月	行	事
9日	第2回ひむろ祭り打ち合わせ（ジョブサイトひむろ）	
17日	第2回役員会（高槻市地域福祉会館3階会議室）	
22日	北摂杉の子会後援会・役員会（高槻市生涯学習センター第1会議室）	東会長出席

（岡 記）

ジョブサイトよど家族会 & ジェイ・ランチよど家族会 掲示板

3月	行	事
7日	3月定例会（淀川区民センター） 「2023年度の法人の事業方針について」 法人出席：下部長、原田副部長 ジョブサイトよど家族会（出席：8名） ジェイ・ランチよど家族会（出席：2名） ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ランチよど家族会 合同役員会（淀川区民センター） 3月定例会の終了後に開催	
14日	ジョブサイトよどのGHを検討する会（淀川区民センター） 会議の後、現地にて十三ホーム見学 法人出席：下部長、原田副部長、丸尾主任 第2期GH：7家族 世話人：永井	
20日	家族会会長会（高槻市生涯学習センター） 出席：永井会長、玉木会長	
4月	行	事
26日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ランチよど家族会 合同総会（淀川区民センター） 法人来賓：松上理事長、下部長、原田副部長 ジョブサイトよど家族会（出席：10名） ジェイ・ランチよど家族会（出席：2名）	

ジョブサイトよど家族会 & ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

5月	行 事
16日	ジョブサイトよどのGHを検討する会の総会（淀川区民センター） 総会の後、現地にて十三ホーム見学 法人出席：下部長、原田副部長、森口主任、高木支援員 第1期GH：7家族（欠席：3家族） 第2期GH：7家族 世話人：永井
22日	北摂杉の子会後援会 定例役員会（高槻市生涯学習センター） 出席：永井会長、玉木会長
27日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど1階）

（永井 記）

ぶれいすBe家族会 掲示板

3月	行 事
10日	役員会（カフェBe）参加者：15名（新役員を含む） 審議報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第14期定期総会資料の策定 開催予告、議事次第 第1号議案 2022年度活動実績 第2号議案 2022年度収支報告および会計監査報告 第3号議案 第14期役員・会計監査・参与の名簿 第4号議案 2023年度活動計画 第5号議案 2023年度予算計画 第6号議案 会則改正 <ul style="list-style-type: none"> ・議長、議事録署名人の選出 ・第14期定期総会「お礼と報告」文書の確定 ・「レジデンスなさはらもとまち」見学会について ・次期役員との顔合わせと担当決め
24日	役員会（カフェBe）参加者：11名 審議報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第14期定期総会議案書の確定と配布
4月	行 事
3日	<ul style="list-style-type: none"> ・第14期定期総会会計監査
8日	第14期定期総会開催（カフェBe：10:00～12:00） 会員総数51家族 出席者 会員29家族 委任状17家族 総会成立 審議事項 第1号議案 2022年度活動実績 第2号議案 2022年度収支・会計監査報告 第3号議案 2023年度役員・会計監査・参与選出 第4号議案 2023年度活動計画案 第5号議案 2023年度予算計画案 第6号議案 会則修正案 第1号議案から第6号議案まですべて承認された
19日	役員会（カフェBe）参加者：11名 審議報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・定期総会議事録・会則・グループホーム見学会Q&Aの配布 ・各役員の業務について
5月	行 事
10日	役員会（ぶれいすBe会議室）参加者：11名 審議報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・会員の確認と名簿の確認 ・2023年度家族会の活動について ショートステイとの懇談会（7月3日） 参観&ランチ（秋以降で計5回） グループホーム見学会 <ul style="list-style-type: none"> ・Beどうし原稿確認
22日	北摂杉の子会後援会役員会出席

（大曾根 記）



北摂杉の子会 後援会 掲示板



本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また法人家族会の皆様のご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<報告事項>

I 会員数の動態と資金について

	個人会員数	納入率	団体会員数	納入率	寄付
4月	589	(3%)	36	(0%)	0
5月	592	(17%)	36	(14%)	6

5月末現在の増減・累計

個人：4名 団体：0 寄付：6名

資金 会費：362,000円 寄付：63,000円

合計：425,000円

II 前年度は会費、寄付金合わせまして1,425,000円の資金を頂戴いたしました。

今年度5月末までに会費、寄付金合わせまして425,000円の資金を頂戴いたしました。

ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

III 定例役員会を開催し下記の案件について確認。

(議事録抜粋)

日時) 2023年5月22日(月)

参加者) 役員10名全員、相談役1名中1名が出席

1. 2022年度の活動

1) 会員数

個人会員：588名、団体会員：36団体、合計：624名/団体

2) 後援会費及び寄付収入

後援会費：1,148,000円、寄付：277,000円、合計：1,425,000円

3) 経緯

・法人への寄付

2023年2月に200万円(AEDを1事業所に設置および訪看支援グッズ・評価キットを購入およびふれいすBe誘導灯設置に充当)

・セキスイハイム住宅紹介制度：2022度は実績なし

・定例役員会(2022年5月)に加えて臨時役員会を3回開催し(2022年8月、2022年11月、2023年2月)、資金集めの方法などを話し合った

・法人各施設家族会会員、職員に後援会への入会をお願いした

・後援会に加入された会員にララショコラの会員特典を付与した

・寄付金や会費納入の年度ごとの推移の分析を行った

・後援会役員を対象とした申事規程を新設した

2. 2022年度の収支と会計監査報告

1) 収入

前期繰越金：2,731,859円、寄付金：277,000円、後援会費：1,148,000円、受取利息：24円、収入合計：1,425,024円

2) 支出

事務費：12,220円、通信費：15,120円、雑費：29,332円、その他：32,750円、法人への寄付：2,000,000円、支出合計：2,089,422円

3) 次期繰越金

2,067,461円(2023年3月31日現在)

3. 2023年度の活動計画

1) 法人への寄付

用途及び寄付金額については法人案を受けて検討し決定する

2) 個人会員、団体会員への会費納入依頼

3) 新規会員の加入お願い

4) 会員特典

後援会への加入促進を目的にララショコラとのコラボを継続

5) 諸課題の整理と対応策の検討

6) セキスイハイム住宅紹介制度

今年度も継続する(後援会会員が住宅を建てる人をセキスイハイムに紹介すると、成約者は建物本体価格の3%割引、また後援会に50万円、紹介者にも10万円が支払われます。連絡先は法人本部：佐々木寛昭 法人事業部長)

<その他のご報告>

2023年度以降の後援会役員は、次のとおりです

会長：沖本卓郎

幹事：東敬司、大曾根清恵、植松芳哲、玉木一彦、永井昌明、今村一二三、中村節史

会計：和田光子

事務局長：佐々木寛昭

(以上、役員)

監査：河坂昌利

相談役：松上利男

(沖本 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金(注)

2. 個人会員 年間一口 2,000円

3. 団体会員 年間一口 10,000円



郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859



(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会

口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に 感謝いたします ～



□ 法人へのご寄附に感謝いたします。(令和5年3月1日～令和5年5月31日)

玉木一彦 棚山薫晴 植松芳哲 匿名1人

□ 後援会入会と会費納入に感謝いたします。(令和5年3月1日～令和5年5月31日)

玉木一彦 飯塚雅代 久保田直 辰巳くみ子 和田光子 中川琳津子 佐藤邦雄 山田信子 高原正義
西原清二 切石芳輝 新田利秀 加藤浩 林美知代 垣端敏栄 豊澤進 東敬司 榎本貴夫 白倉俊雄
米田たか 平野千鶴子 浅野一夫 並河博 並河光子 小越洋一郎 清水康夫 内田早苗 富士谷恵子
横井佐恵子 加地佐智代 三宅陽一 三宅紀子 北爪隆子 柄須賀重雄 柄須賀咲智子 山尾扶美 山尾郁保
登間佐孝男 西田誠士 森泰雄 調佳枝 山田健一 山田智子 佐藤宣三郎 平瀬武明 西村伊一郎
村山宣明 村山靖子 増田桂子 藤田晴美 田口容子 田口敦夫 田寺雅幸 田寺文子 田口勝重 田口恵美子
田口真里子 福田江里子 岩成由佳子 新川彰 畑中孝雄 森本信之 梁恵子 東井はるみ 本田圭子
竹内知子 三谷勤 丸山淳一 具志堅進 具志堅郁子 行成章子 吉川輝夫 吉川弘子 榎本浩之 榎本滋子
志村敦子 山里将夫 佐藤康子 小林夏子 板倉ひろ子 松上文子 中村忠雄 中村昭代 永井昌明
赤尾浩子 尾木豊 今井温子 小林伸次 岡大緑 野口良三 野口里子 古山和史 高橋八重子 山下隆司
南昌子 南浩聡 南俊一郎 南直美 南雄太 黒澤和子 エムズエンジニアリング株式会社
寺田軌道株式会社 代表取締役 寺田秀喜 株式会社 いずみ商事 有限会社 若松産業
医療法人桜峰会 香川クリニック 株式会社 二井清治建築研究所 匿名1人

□ 後援会へのご寄付に感謝いたします。(令和5年3月1日～令和5年5月31日)

久保田聖 田口勝重 宮本東雨 佐藤康子 新川淳 有限会社 若松産業 匿名1人

□ 家族会へのご寄付に感謝いたします。(令和5年3月1日～令和5年5月31日)

黒瀬美和子

□ 家族会への物品のご提供に感謝いたします。(令和5年3月1日～令和5年5月31日)

池上みどり 今中貴子 岡田公子 中村叔子 前垣睦子 吉田尋美 小林夏子 藤本寿子

□ 家族会へのボランティアに感謝いたします。(令和5年3月1日～令和5年5月31日)

佐々木映世 小林夏子

(敬称略 順不同)

おわびと訂正

前々号(機関誌92号)、前号(機関誌93号)法人へのご寄付にて以下の様な誤りがございました。

ここにお詫びして訂正申し上げます。

正	誤
富士谷 啓 様	富士谷 啓 様

関係者各位には多大なるご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2023年7月31日

定価100円

施設住所一覧

- 社会福祉法人 北摂杉の子会 法人事業部 人材育成研修室**
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
 - 障がい者支援施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
 - 萩の杜 日中活動支援センターふれっとなさはら** (生活介護)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
 - 萩の杜ショートステイセンター ぶれす** (短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0199
 - グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
 - レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
 - レジデンスなさはら2丁目** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
 - レジデンスなさはらもとまち** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号
 - ジョブサイトひむろ** (生活介護)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
 - 高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be** (生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
 - 生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
 - 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか** (発達障害者支援センター事業)
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
 - 児童デイサービスセンター an** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)4862-5454 FAX (06)4862-5466
 - こども発達支援センター will** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
 - こども相談支援センター wish** (指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)668-4776 FAX (072)681-4900
 - 自閉症療育センター Link** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
 - ジョブサイトよど** (生活介護)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
 - ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
 - レジデンスよど三津屋北ホーム** (共同生活援助)
〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北1丁目9番6号
 - レジデンスよど十三ホーム** (共同生活援助)
〒532-0024 大阪市淀川区十三本町2丁目14番9号
 - ジョブジョイントおおさか** (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
 - ジョブジョイントおおさか たかつきランチ** (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
 - すぎのご訪問看護ステーション** (訪問看護)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目7-16 リーベン城北401
TEL (072)668-2670 FAX (072)668-2671
 - 発達支援あゆみ** (豊中市児童発達支援事業所あゆみ) (個別療育・障害児一時預り事業・単独通所)
〒560-0054 豊中市桜の町3丁目12番10号
単独通所 あゆみ
TEL (06)6841-1551 FAX (06)6841-9467
個別療育 カラフルー一時預かり りーふ
TEL (06)6398-7755 FAX (06)6841-9467
- 【法人自主製品店舗】**
- 「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKU」**
就労継続支援B型
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)
- ※■は行政よりの委託事業